園長だより 12月

ちゅうぶっ子

令和7年12月号
発行者
出雲市立中部幼稚園
園長　高橋　均

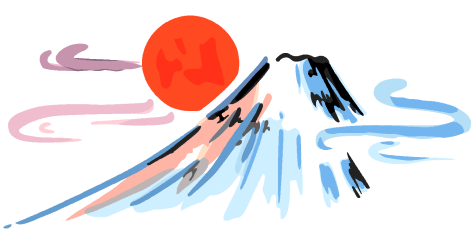
９月、まだまだ残暑がきびしい中でのスタートとなった２学期も、気がつけば残りわずかとなりました。それでも今年は例年に比べると冬の訪れが遅く、穏やかな気候の秋をしっかりと楽しむことができました。そんな中、運動会や、フォーゲルパークへの遠足、斐伊川土手での草すべり、園庭での焼き芋、園で育てた野菜をみんなで調理して食べた収穫祭、そして一人一人が個性を発揮して輝いた生活発表会と、たくさんの行事を経験したり、園での日々の遊びや生活を通して、どの子も心と体を大きくたくましく成長させることができました。

これも、陰に日向に支えてくださった保護者やご家族、地域の皆様のおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。

中部幼稚園は、１２月２６日（金）～１月７日（水）まで冬休みになります。年末年始は楽しい行事がたくさんあり、生活のリズムが崩れやすくなりがちですが、インフルエンザなどの感染症にかからないよう気を付け、ご家族全員そろって元気に過ごされますよう願っております。

それでは皆様、良い年をお迎えください。

Desejo a todos um ótimo final de ano !



心温まる『ぽかぽかハート』生活発表会

Apresentacao do cotidiano com coracao quentinho

１２月５日（金）に、生活発表会を行いました。年少から年長までの園児たちが、これまで中部幼稚園で学んできたことをもとに、オリジナルの劇や歌、合奏などにして発表しました。今回のテーマは『ぽかぽかハートはっぴょうかい』。演じる子どもたちはもちろん、見てくださるおうちの人や地域の皆さんもみんなが笑顔になり、心が温かくなるような発表にしようと、はりきって取り組みました。

たくさんの人の前で緊張したと思いますが、どのクラスもそれぞれの年齢に応じたいきいきとした姿を披露し、大きな拍手をいただいて、とても満足した様子でした。

ブラジルの子どもたちも、日本語のセリフを覚え、日本の子どもたちと力を合わせてよくがんばりました。私からも、大きな拍手を送りたいと思います。みんな、とてもすばらしかったです！

＜おうちの人の感想より＞

・今回の発表会も、とても感動しました。ポルトガル語のセリフもたくさんあり、みんなで一つになれるような発表会でした。一人一人の声も大きく、堂々としているのが印象的でした。劇のストーリーもとても工夫されていて、見ていてとてもおもしろかったです。「ぽかぽかハート」というスローガンがぴったりな発表会でした。（年少組保護者）

・歌もダンスもセリフも動きも、すばらしかったです！みんながたくさん練習したのが伝わってきました。日々の生活の中で見つけたことや感じたことがテーマとなっていて、みんなの成長がわかって嬉しくなりました。来年は年長さんのようになるんだなと思うと、今から楽しみです。（年中組保護者）

・オープニングの合奏では、子どもたちが音を合わせようと真剣な表情で演奏する姿に、日々の練習と成長を感じました。劇では、体験したことを自分たちの言葉で表情豊かに表現していて、可愛らしくもあり、たくましさも感じるとてもすてきな発表でした。友だちと協力しながら最後までがんばるストーリーに感動しました。（年長組保護者）